

令和4年度大学教育再生戦略推進費 地域活性化人材育成事業～SPARC～ 計画調書

[基本情報]

1. 事業責任大学	宮崎大学							
2. 機関番号	申請 大学	17601						
3. 事業者 (大学等の設置者)	ふりがな (氏名)	さめしま ひろし 鮫島 浩	(所属・職名) 学長					
4. 申請者 (大学の学長)	ふりがな (氏名)	さめしま ひろし 鮫島 浩	(所属・職名) 学長					
5. 事業責任者	ふりがな (氏名)	しんち たつろう 新地 辰朗	(所属・職名) 理事(教育・学生担当)					
6. タイプ名	タイプ②							
事業計画名	新しい価値を創造し持続可能な地域づくりを牽引する『多様な未来共創人材』の育成プログラム							
7. 対象地域	宮崎県							
8. 事業のキーワード	「産学金労官の有機的連携」、「国・私大学・短大の多様な協働」、「未来共創プログラム」							
9. 事業のポイント(400字以内) (399.5文字)	<p>①平成28年に宮崎県内の産学金労官の総力で組織し、宮崎大学が運営を担う「産業人財育成プラットフォーム」、更に参画大学の所在する宮崎県・宮崎市・都城市との密接な連携により、地域に根差した魅力的な学びを実現</p> <p>②国立大学、私立の四年制大学2校及び短期大学1校の有機的な協働による多様で創造的な学びを実現</p> <p>③全大学が「STEAM・文理融合・分野横断」を基本に基礎教育を改革し、各専門教育においても「分野横断・未来共創力・地域との繋がり」を取り入れた個性的な教育プログラムを実施</p> <p>④VUCAの時代に地域に新しい価値を創造することのできる多様な未来共創人材の育成を図り「生産性の高い第1次産業」「フードビジネス」「DX・AI」「グローバルビジネス」「地域医療・教育」等、多様な分野における持続可能な地域づくりに貢献</p> <p>⑤宮崎大学が事務局を担う高等教育コンソーシアム宮崎とも連携し、大学を核とした持続可能な人材育成・定着システムを構築</p>							
10. 学生・教職員数	宮崎大学							
	学生数				教職員数(R4.5.1)			
		入学定員 (令和4年度)	全学生数 (R4.5.1)	収容定員 (令和4年度)	定員充足率 (R4.5.1)	教員数	職員数	合計
	学部	1,025 人	4,640 人	4,430 人	104.7%	764 人	1,475 人	2,239 人
	大学院	286 人	799 人	634 人	126.0%			
合計	1,311 人	5,439 人	5,064 人	107.4%				
11. 取組を実施する学部等名	学部等数	5		研究科等数				
(学部等名) 教育学部、医学部、工学部、農学部、地域資源創成学部								
10. 学生・教職員数	南九州大学							
	学生数				教職員数(R4.5.1)			
		入学定員 (令和4年度)	全学生数 (R4.5.1)	収容定員 (令和4年度)	定員充足率 (R4.5.1)	教員数	職員数	合計
	学部	310 人	988 人	1,240 人	79.7%	63 人	42 人	105 人
	大学院	6 人	8 人	12 人	66.7%			
合計	316 人	996 人	1,252 人	79.6%				
11. 取組を実施する学部等名	学部等数	2		研究科等数				
(学部等名) 環境園芸学部環境園芸学科、健康栄養学部食品開発科学科								

10. 学生・教職員数	大学名	宮崎国際大学						
		学生数				教職員数(R4.5.1)		
		入学定員 (令和4年度)	全学生数 (R4.5.1)	収容定員 (令和4年度)	定員充足率 (R4.5.1)	教員数	職員数	合計
	学部	150 人	579 人	600 人	96.5%	44 人	20 人	64 人
	大学院	- 人	- 人	- 人	-			
合計	150 人	579 人	600 人	96.5%				
11. 取組を実施する学部等名	学部等数	1		研究科等数				
	(学部等名)	国際教養学部						
10. 学生・教職員数	大学名	宮崎学園短期大学						
		学生数				教職員数(R4.5.1)		
		入学定員 (令和4年度)	全学生数 (R4.5.1)	収容定員 (令和4年度)	定員充足率 (R4.5.1)	教員数	職員数	合計
	学部	260 人	412 人	520 人	79.2%	32 人	15 人	47 人
	大学院	- 人	- 人	- 人	-			
合計	260 人	412 人	520 人	79.2%				
11. 取組を実施する学部等名	学部等数	1		研究科等数				
	(学部等名)	現代ビジネス科						

12. 学校教育法施行規則第172条の2第3項において「公表するものとする」とされた教育研究活動の状況について、公表しているHPのURL
http://www.miyazaki-u.ac.jp/administration/public/legal/rule/

13. 事業経費(単位:千円) ※千円未満は切り捨て								
年度(令和)	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計	
事業規模	100,000	100,000	100,000	100,000	89,200	86,000	575,200	
内訳	補助金申請額	100,000	100,000	100,000	100,000	66,000	33,000	499,000
	大学負担額					23,200	53,000	76,200

※1. 文部科学省や他省庁が実施する他の補助金は「大学負担額」に計上しないこと。

※2. 国立大学における運営費交付金、公立大学における運営費交付金等、私立大学の私立大学経常費補助金等は「大学負担額」に計上しないこと。

14. 事業協働 機関	(参加校[大学、短期大学、高等専門学校]) 南九州大学、宮崎国際大学、宮崎学園短期大学
	(地方公共団体) 宮崎県、宮崎市、都城市 ※参加校のキャンパス所在市
	(企業・経済団体) 宮崎県商工会議所連合会、宮崎県商工会連合会、宮崎県中小企業団体中央会、宮崎県工業会、 宮崎県農業協同組合中央会、宮崎県産業振興機構
	(金融機関) 宮崎銀行、宮崎太陽銀行、宮崎県信用金庫協会
	(その他) 連合宮崎

(事業責任大学名:宮崎大学)

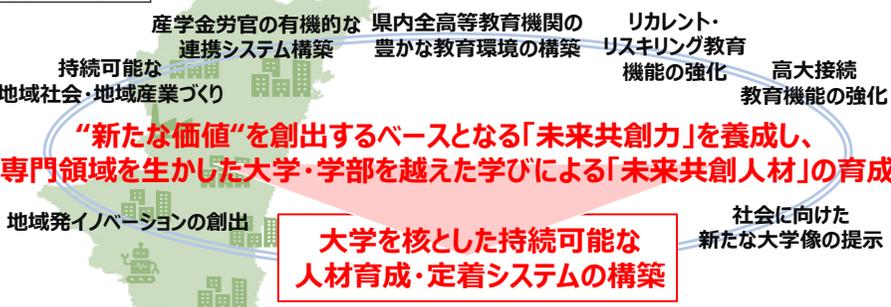
概要

産学金労官の連携体である地域連携プラットフォームとしての「宮崎県産業人財育成プラットフォーム」の更なる機能強化を図るとともに、地域の“学が結集”した大学等連携推進法人を組織することで、大学・学部が横断的に交わり、これまで以上に地域と密接に連携した「未来共創教育プログラム」を構築し、「生産性の高い第1次産業」、「フードビジネス」、「DX・AI」、「グローバルビジネス」、「地域医療」、「地域獣医療」、「地域教育」等、多様な分野において持続可能な地域づくりを支える多様な「未来共創人材」を育成する。

【本事業の先進性】

- ① 4 高等教育機関とも、基礎教育の抜本的な見直しを伴う全学的な学位プログラム改革であり、地域の高等教育機関のモデルとなる。
- ② 高等教育コンソーシアム宮崎内の他大学等にも水平展開する可能性が高い。
- ③ 「産業人財育成PF」と2つの地域連携プラットフォーム（「企業成長促進PF」「イノベーション共創PF」）との連携により、イノベーションの創出等、二次的な波及効果を生み出す。
- ④ 宮崎大学の新キャンパス（錦本町）を有効に活用することにより、地域・企業等との連携、大学間・高大連携が大きく進展する。
- ⑤ 大学を核とした持続可能な人材育成・定着システムの構築に繋がる。

目的・効果



【地域連携プラットフォーム】宮崎県産業人財育成プラットフォーム 宮崎県の産学金労官 13 機関で組織する「Do & Think Tank」体制（2016年設立／運営事務局：宮崎大学）



- ① 時代の変化に目を向け、柔軟に戦略立案・意思決定できる人材
- ② 事業拡大やイノベーションに挑戦し企業や地域等を支える人材
- ③ 自ら主体的・積極的に価値を創造するチャレンジマインドを持った人材
- ④ 横断的で広い視野を持ち、多様な人と繋がり巻き込むことのできる人材

「未来共創力」を構成する、3つの身に付けるべき資質・能力

※①～③はR2年2月のPF会議で決定、④及び資質・能力は本事業を踏まえ、R4年5月のPF会議で追加決定

- 科学的思考力
- 俯瞰力・構想力
- 繋ぐ力・構想実現力



地域で求められる多様な人材の育成に向けた教育の展開【SPARC学生 210名育成】

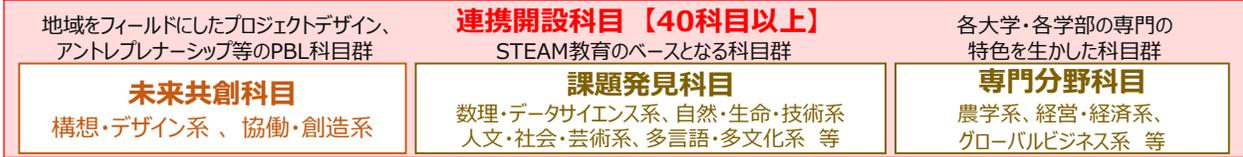
大学等連携推進法人（R6年度前半設立予定）事業実施に当たりSPARC事業運営委員会を組織

全大学が基礎教育を抜本的に改革。基礎教育で身に付く能力（特に「未来共創力」）が専門教育に有機的に繋がり、各々の専門性をさらに広げ、深めるための文理・分野融合教育、協働実践教育を取り入れた個性的な「9つの学位プログラム」を構築。さらに教学マネジメントシステムを強化し、各学長のリーダーシップの下、本事業を大学全体の教育改革に位置付けて推進する。



宮崎大学	南九州大学	宮崎国際大学	宮崎学園短期大学
SPARCプログラム推進プロジェクトチーム	SPARCプログラム推進委員会	SPARC連携教育プログラム組織委員会	SPARC連携教育推進委員会
地域資源創成学部、農学部、工学部、教育学部、医学部	健康栄養学部 環境園芸学部	国際教養学部	現代ビジネス科
①「未来共創力」を養成するため、STEAM教育を柱とした基礎教育の全学的改革 ②各専門分野の特色を生かした学士課程プログラムを構築	①教養教育を、基礎教育（総合領域）、南九リベリアル（複合領域）、地域共生に再編 ②農業生産分野・食品加工分野において、宮崎大学と連携	①「地域学」を強化することで、より地域に根差したグローバル人材を育成 ②連携開設科目も活用し、「ESTEAM教育」を充実	①一般教育に数理・DS等の理系・グローバル教科を拡充 ②専門教育で地域研究・アントレプレナーシップ科目等を充実 ③四年制大学への接続を強化

他の大学等へ成果等を共有 県内11高等教育機関による「高等教育コンソーシアム宮崎」全体に成果を共有し、さらなる連携の強化・連携内容の充実を図る。



【将来に向けた展開】錦本町・新キャンパス「みやざきイノベーションハブ」
令和7年4月に宮崎市の中心地にオープン。「学び」「共創」「成長」「発信」をコンセプトに、「人材の育成」と「イノベーション創出」が循環するエコシステムの構築を目指す。

